

# 野岸小だより



小諸市立野岸小学校NO11  
令和5年2月3日 発行  
校長 丸山 穰

新型コロナもインフルエンザも落ち着きを見せ始め、佐久地域のレベルも3に下がってきました。全校で集まる機会も少しずつ増えてきました。子どもたちは、年度末に向けて、まとめや来年度のめあてづくりに入っています。

## 臨舟先生ありがとうございました。感謝の会 1/24(火)

12年にわたって、本校の書写指導してくださった、成沢臨舟先生が、本年度をもって最後になりました。そこで、最終日となるこの日に、山下教育長さんも駆けつけてくださり、テレビ放送で感謝の会を開きました。学年代表のメッセージや花束の贈呈などを行いました。先生は、毎回のお手本に、子どもたち一人一人の名前を書いてくださり、名前も含めた一つの作品になるようにしてくださいました。筆遣いはもちろんのこと、文字の成り立ちや書道に向かう姿勢なども含めて教えていただき、職員も大変勉強になりました。長年書写を通じて子どもたちを育てていただき本当にありがとうございました。



## スキー教室(3・4学年) 1/27(金)

3, 4年生も、スキー教室を開催することができました。あいにくの天候だったのですが、最初は恐る恐るだった子どもたちも、終わる頃には、「もっとやりたい!」と楽しむことができました。長野県ならではの冬のスポーツを経験して、頑張ってたかったとか、これからもいろんな事に挑戦していきたいなどの気持ちを持ってくれればと思っています。



## 児童会長選挙・立ち会い演説会・投票 2/2(木)



来年度の野岸小学校児童会の方向を決める大切な児童会長選挙が実施されました。3年生以上が、真剣な表情で話を聞き、投票しました。自分の思いを1票に託して児童会づくりに参加し、選ばれた人も、選んだ人も力を合わせて、よりよい野岸小学校児童会を創りあげていく。そして、そんな上級生を見て、下級生も「いつかは、あんなふうになりたい」と憧れを持てるような児童会になっていってくれそうだなと感じました。

## データ版「白雲」について

子どもたちの思いを1冊にまとめて作ってきた「学校詩集 白雲」ですが、価格を抑えたい、内容も幅を持たせたいなどの点について、ここ何年か検討してきました。そして、今年は、冊子ではなく、CD-Rにデータを入れる形での発刊としました。価格も以前より低く抑えることができ、カラーのデータや自筆のデータなど、今まで載せることができなかった形態でも掲載できるようになりました。初めての試みなので、まだまだ改善の余地はあると思います。ご意見などお寄せいただければ、来年度に活かしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

